



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社木曽路

上場取引所 東名

コード番号 8160 URL <https://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 豊稔

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 戸谷 明宏

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	23,865	19.1	396		380		412	
2023年3月期第2四半期	20,042	35.0	1,697		1,677		1,635	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 210百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 1,600百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	14.63	
2023年3月期第2四半期	58.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	46,641	26,893	57.7
2023年3月期	48,412	27,331	56.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 26,893百万円 2023年3月期 27,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		8.00		8.00	16.00
2024年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	15.4	1,600		1,620		920		32.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外 1社 (社名) 株式会社大將軍

(注) 株式会社大將軍は、2023年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	28,543,889 株	2023年3月期	28,543,889 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	383,112 株	2023年3月期	382,119 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	28,161,430 株	2023年3月期2Q	27,883,206 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）におけるわが国経済は、入国制限などの水際措置を、4月29日をもって終了したことによるインバウンド需要の増加及び5月8日をもって新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを5類に引き下げたこと等により、人流も増加し個人消費は回復基調にあります。

外食産業におきましては、ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー価格高騰と円安を背景に輸入食材や肥料等の価格が上昇したことで食料価格の高騰が懸念される等、物価を押し上げる要因が重なり、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中で、当社グループは、引き続きご来店頂けるお客様に安心してお食事を楽しんでいただけるよう努めております。

営業面においては、主力業態であるしゃぶしゃぶ・日本料理の「木曽路」部門において付加価値の高い料理・サービスを手頃な価格で提供すること及び店舗教育の推進により営業力を強化しました。また、第2の柱としての焼肉部門の強化と経営資源の集中を図るため、中部地区で展開していた焼肉の「じゃんじゃん亭」を「くいどん」へ業態転換を行いました。

費用面においては、客数予想をもとにしたシフト管理の徹底等により人件費をコントロールすると共に、新規仕入先との取引を積極的に推進し原価低減を図る等、経費削減に努めました。

また、2023年7月1日に株式会社木曽路は子会社である株式会社大將軍の吸収合併を行いました。この吸収合併により、管理部門業務などの重複する業務を統合して業務効率化に努めてまいります。更に企業規模の拡大により業務の対応範囲を拡張し生産性向上に繋げて収益力アップを図ってまいります。

店舗展開、改築・改装につきましては、1店舗の出店と7店舗の改装を実施し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は194店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、238億65百万円（前年同期比 19.1%増加）、営業損益は3億96百万円の損失（前年同期実績 16億97百万円の損失）、経常損益は3億80百万円の損失（同 16億77百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損益は4億12百万円の損失（同 16億35百万円の損失）となりました。

なお、働き方改革の一環として当社グループ全体で、5月8日、9日の2日間、全店一斉休業を実施しました。今後も働き易い魅力ある企業作りにも努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前連結会計年度 (2023年3月31日現在)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日現在)	増 減
総資産（百万円）	48,412	46,641	△1,771
純資産（百万円）	27,331	26,893	△437
自己資本比率（%）	56.5	57.7	—
1株当たり純資産（円）	970.53	955.01	△15.52

当第2四半期連結会計期間末の総資産は466億41百万円（前連結会計年度末比 17億71百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動資産が192億38百万円、有形固定資産が170億70百万円、無形固定資産が27億56百万円、投資その他の資産が75億75百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、流動資産が23億59百万円の減少となったことによるものであります。

一方、負債合計は197億47百万円（同 13億33百万円の減少）となりました。この主な内訳は、流動負債が160億45百万円、固定負債が37億1百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、借入金が8億89百万円の減少となったことによるものです。また、当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は268億93百万円（同 4億37百万円の減少）となりました。この主な内訳は資本金が126億48百万円、資本剰余金が124億67百万円、利益剰余金が23億59百万円であります。前連結会計年度末からの主な減少要因は、利益剰余金が6億37百万円の減少となったことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.7%（前連結会計年度末は56.5%）、1株当たり純資産額は955.01円（同 970.53円）となりました。

(部門別売上高)

部門	事業内容	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	前年同期比 増減率
木曽路 部門	しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曽路」	15,486百万円	18,559百万円	19.8%
焼肉部門	特選和牛の「大將軍」 国産牛焼肉の「くいどん」	3,864	3,998	3.5%
その他 部門	居酒屋	342	507	48.3%
	和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」	283	327	15.6%
	その他	156	698	346.2%
調整額		△91	△227	—
合 計		20,042	23,865	19.1%

(注) 部門別売上高は連結取引高の相殺消去前の数値であります。

木曽路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曽路」業態は、店舗の異動はなく、当第2四半期連結会計年度末店舗数は126店舗であり、2店舗の改装を行いました。店内飲食での宴会需要や予約獲得状況、インバウンド需要が回復基調にあること等から来店客数は前年より伸長いたしました。

このような環境の中で新規顧客の獲得、来店動機づくりにTVCMを実施するとともに、引き続き、お持ち帰りお弁当販売やご自宅でお楽しみいただける「しゃぶしゃぶセット」等の販売で売上高の増加に努めました。

その結果、売上高は185億59百万円（前年同期比 19.8%増加）となりました。

焼肉部門

特選和牛の「大將軍」及び国産牛焼肉の「くいどん」は、1店舗の出店と4店舗の改装を行い当第2四半期連結会計年度末店舗数は49店舗となりました。中部地区では焼肉の「じゃんじゃん亭」から「くいどん」への業態転換を行う等、営業体制の再構築を行いました。休業を伴う改装を行った一方、来店客数が回復したこと等により、売上高は39億98百万円（同 3.5%増加）となりました。

その他の部門

居酒屋（とりかく、大穴）業態は、1店舗の業態転換により当第2四半期連結会計年度末店舗数は8店舗であります。宴会需要が回復し来店客数が増加したこと等により、売上高は5億7百万円（同 48.3%増加）となりました。

和食 しゃぶしゃぶの「鈴のれん」業態は、店舗の異動はなく、当第2四半期連結累計期間末店舗数は5店舗であります。当期は来店客数が増加したこと等により、売上高は3億27百万円（同 15.6%増加）となりました。

その他業態は、食肉加工卸売、からあげ専門店の「からしげ」、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）及び不動産賃貸等であります。前連結会計年度に株式会社建部食肉産業を子会社化したこともあり、売上高は6億98百万円（同 346.2%増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本日（11月10日）に公表いたしました「2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,220	14,012
売掛金	1,743	1,735
商品及び製品	51	41
原材料及び貯蔵品	1,948	2,823
その他	637	627
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	21,598	19,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,019	8,630
土地	6,175	6,175
その他（純額）	2,142	2,264
有形固定資産合計	16,337	17,070
無形固定資産		
のれん	1,831	1,740
その他	1,063	1,015
無形固定資産合計	2,894	2,756
投資その他の資産		
差入保証金	4,201	4,152
その他	3,409	3,453
貸倒引当金	△28	△30
投資その他の資産合計	7,582	7,575
固定資産合計	26,813	27,402
資産合計	48,412	46,641

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,228	1,454
短期借入金	4,500	4,560
1年内返済予定の長期借入金	5,360	5,253
未払法人税等	70	206
資産除去債務	22	2
賞与引当金	531	721
その他	4,465	3,845
流動負債合計	16,178	16,045
固定負債		
長期借入金	1,631	787
退職給付に係る負債	947	962
資産除去債務	1,314	1,307
その他	1,008	644
固定負債合計	4,901	3,701
負債合計	21,080	19,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,648	12,648
資本剰余金	12,467	12,467
利益剰余金	2,996	2,359
自己株式	△932	△934
株主資本合計	27,180	26,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	138	344
退職給付に係る調整累計額	12	8
その他の包括利益累計額合計	151	353
純資産合計	27,331	26,893
負債純資産合計	48,412	46,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,042	23,865
売上原価	6,557	7,726
売上総利益	13,485	16,138
販売費及び一般管理費	15,182	16,535
営業損失(△)	△1,697	△396
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	20	17
助成金収入	27	—
その他	26	18
営業外収益合計	86	48
営業外費用		
支払利息	21	22
貸借契約解約損	29	3
その他	15	6
営業外費用合計	66	32
経常損失(△)	△1,677	△380
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	93	110
特別損失合計	93	110
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,769	△490
法人税、住民税及び事業税	76	59
法人税等調整額	△210	△138
法人税等合計	△134	△78
四半期純損失(△)	△1,635	△412
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,635	△412

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△1,635	△412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	205
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	35	201
四半期包括利益	△1,600	△210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,600	△210
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,769	△490
減価償却費	693	754
のれん償却額	87	91
賞与引当金の増減額(△は減少)	73	190
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	1
受取利息及び受取配当金	△32	△29
助成金収入	△27	—
支払利息	21	22
賃貸借契約解約損	29	3
固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
固定資産除却損	93	110
売上債権の増減額(△は増加)	139	7
棚卸資産の増減額(△は増加)	△365	△865
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△56	△101
仕入債務の増減額(△は減少)	△41	225
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△424	△163
長期未払金の増減額(△は減少)	△26	△12
その他	△5	△34
小計	△1,613	△279
利息及び配当金の受取額	33	31
利息の支払額	△21	△22
助成金の受取額	1,248	11
賃貸借契約解約による支払額	△34	△2
法人税等の支払額	△377	△67
法人税等の還付額	—	124
営業活動によるキャッシュ・フロー	△764	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,493	△1,795
無形固定資産の取得による支出	△13	△38
有価証券の償還による収入	—	100
差入保証金の差入による支出	△88	△27
差入保証金の回収による収入	209	79
資産除去債務の履行による支出	△77	△0
その他	△45	△71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,510	△1,754
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,000	4,560
短期借入金の返済による支出	△4,000	△4,500
長期借入れによる収入	—	4,800
長期借入金の返済による支出	△245	△5,750
リース債務の返済による支出	△154	△131
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,176	—
新株予約権の買入消却による支出	△18	—
配当金の支払額	△216	△225
その他	△0	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,540	△1,249
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△734	△3,208
現金及び現金同等物の期首残高	17,617	17,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,882	14,012

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結会計期間において、当社を吸収合併存続会社、当社の連結子会社であった株式会社大將軍を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。